

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 心の支援センター

1 事業実施の成果

今年度の事業

心の支援センターでは、悩みを抱えている人や社会的な不適応に関する方々、人間関係の改善を求めている方、心の観点から社会的な活動を希望している方などの精神的支援活動を行っています。

誰もが安心、安定な日々を求めています。安心感のある肯定的な人間関係は生活や明日への取り組みの意欲につながります。

- ① 問題解決や不適応を適応へと変えることが目的ではなく、
- ② 恐怖を抱く不満や不安を十分に傾聴(共感)し、苦痛をいくらかでも軽減し、
- ③ 肯定的に関わり、防衛しないで良い関係をつくり
- ④ その方の持っている力や生命力を引き出し、自己肯定感や自己信頼を築き、
- ⑤ 現実をありのままに受け入れ、未来に向けて進んでいける心のあり方を支援することを目指しています。

○今年度は、コロナウイルス感染予防のため、個別カウンセリングや電話相談など認定カウンセラーの委託事業・情報紙発行以外の活動は中止としました。

○令和2年度 OA 機器助成事業でパソコンを助成

これまで、必要な事務処理（事業計画、会計や事業報告、情報紙発行など必要な事務処理）は個人使用のパソコンやプリンターを借りて処理してきました。当法人所有の OA 機器一台もありません。

法人の収入は会員の会費で運営しています。電話相談にかかる電話料金（転送代含む）やインクや事務用品、会場費、カウンセラーの活動委託費などの支払いがあり、また営利活動をしていないので、OA 機器を購入する費用はなかったのが実状です。

今回、現在の事務局担当は家族のパソコンを借りて事務処理しているので、自由に使えないところがあります。当法人所有のパソコンがあったらと思い申し込み、パソコンをいただきました。

事業報告

1、心の悩みや葛藤などをかかえている方との個別カウンセリング

1、当法人認定カウンセラーに委託しています。

①個別カウンセリングは、当法人認定カウンセラーが 要請に応じて面談相談をしています。

②電話相談では、傾聴姿勢を心がけ、共感的に思いを聴かせていただきました。

・24年度から始めた大分会場の電話相談は受付担当を体制化し、現在は、5人の相談員が日替わりで電話を転送し、随時受付できるようになりました。

・当法人の登録事務所の電話でも電話相談を受け付けています。



③傾聴ボランティア

それぞれ当法人のメンバーやカウンセラーが日常生活の人間関係や仕事を通して、常に傾聴姿勢に心がけています。

今年度の相談件数 宇佐と大分電話相談対応(面談含む)：延べ約 76 件

*認定カウンセラーの活動等の相談件数は含んでいません。 137

2、特定非営利活動法人心の支援センター 令和2年度定時社員総会議事録

1、召集年月日 令和2年5月20日(水)～6月2日(火)

2、開催場所 大分活動事務所(大分市大字羽屋チュリス古国府壱番館1号)

3、開催日時 令和2年 6月3日(水) 13時00分～14時00分

4、社員数 33名

5、出席者数 26名(内訳 本人出席 3名、委任状出席 23名)

今年度はコロナウイルスの感染予防のため、通常の総会を実際に集まる人数を最小限にした「代理人による表決の委任」により総会を開催しました。

委任状と一緒に昨年度の活動報告や活動計算書等を送付しました。

3、心身の健康増進などを目的としたワークショップ

4、講演会・シンポジウム

5、カウンセリング専門研修

コロナウイルス感染予防のため中止にしました。



6、認定カウンセラー養成

カウンセラーの認定研修は、これまでと変わりなく、テープ、レポート、逐語録審査とし、理事長の研修指導を受け、認定資格授与となりました。

今年度は認定カウンセラー資格取得者はありませんでした。

カウンセラーの資質を身につけるには10年かかると言われます。論語では40歳にして(不惑)惑わず、50歳にして(知命)天命を知り、60歳にして(耳順)耳に従うと、60歳にして人の話がすなおにきけるとあります。カウンセラーとして「きく」ことのむずかしさを語っています。当法人でも、前理事長佐世省吾氏から受け継いだ、資格取得はこれからの体験学習の入り口であり、「カウンセラーの資格・免許というものは、クライアントからもらうものである。」という日本・カウンセリングセンターの本当の意味をご理解いただき、生涯学習として資質を体得していただきたいと思います。

これまでの当法人の公認カウンセラー資格者授与者は延べ人数 73 名です。

○認定カウンセラーの活動支援事業

*当法人のカウンセラーの認定をうけて、カウンセラーへの委託事業（個別カウンセリングやグループカウンセリング、カウンセリング学習会、カウンセラー養成（傾聴講座）講座）など、社会的な貢献として、当法人の方針を理解し、精神的な支援活動を実践している会員（活動グループ含む）に対して、その活動費用の一部（会場費や資料印刷消耗品など）を助成しました。

・助成対象者：生山留美氏、木下尚恵氏、大久保ひとみ氏

7、カウンセリング情報誌発行（別紙添付）

① R2年10月発行：情報紙（会員の原稿掲載）

② R3年3月発行：勇気や元気をいただくことば、認定カウンセラーの挨拶、カウンセリングの原稿等

8、その他

○宇佐市自殺予防ネットワーク会議に南治子氏に参加いただきました。

○日本カウンセリング・センターのワークショップは中止となりましたが、大分県カウンセリング研究協会の事務局後藤アイ先生主催の日帰りワークショップが、令和2年8月28日（金曜日）・29日（土曜日）大分市辻の長林禅寺で行われました。当法人から8名の方の参加がありました。



令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで


特定非営利活動法人 心の支援センター

2 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業) 具体的な実施状況別紙添付

定款の事業名	事業内容	(A) 実施日時	(B) 実施場所	(C) 従業の人数 世話人	(D) 受益予定者の範囲 (E) 人数 (参加人数)	支出額 (円)
①個別カウンセリング事業	悩みを抱えている方の相談を受け付ける。 ・無料(電話)相談 ・個別相談(カウンセラーに委託) ・傾聴ボランティア(認定カウンセラーに委託)	随時 (カウンセラーの対応) 毎日 10:00~17:00 随時	・宇佐登録事務所 ・大分活動事務所 ・カウンセラー 活動会場：宇佐、大分、長崎、山口、	宇佐 5名 大分 4名 山口 1名 長崎 3名	(D) 青少年と家族・一般 (E) 延べ相談件数約 146件 (内：宇佐 107件、大分 30件、その他カウンセラー受け件数未定)	86,286円
②グループカウンセリング事業	エンカウンターグループで思いや悩みを話し合いながら精神的な支援や居場所づくりをする (認定カウンセラーに活動委託)	認定カウンセラーの活動開催日：長崎、山口、大分、小倉、宇佐会場の開催日 (コロナウイルス感染予防のため中止の会場あり。)	・宇佐登録事務所 ・大分活動事務所 ・北九州ムーブ ・長崎(彼杵) ・山口(児童館)	カウンセラー5名	(D) 悩みを抱えている一般の方不特定多数・会員 (E) 宇佐： 5~8名 各会場： 各 3~8名	0円



③ワークショップ事業	森林環境を利用した心を育てる体験学習として、1泊2日の宿泊を行い、自然観賞やふれあいの機会を持つ。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止。	(今年度は、(株)大分県カウンセリング研究協会事務局主催の日帰りワークショップ:8月28日・29日に希望者が参加した。	大分市辻 226 長林禅寺	1名	(D) 当法人会員等 (E) 8名	0円
④講演会・シンポジウム事業	① カウンセリング講演会 ② 子育て支援講座 ③ カウンセリング専門研修 今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止。	*大分県カウンセリング研究協会主催のワークショップに会員の希望者が参加しました。				0円
⑤カウンセラー養成事業	①カウンセリング講座と体験学習による養成学習会開催(カウンセラーに委託) ②認定カウンセラーの活動経費(個別カウンセリング・グループカウンセリング、カウンセラー養成事業の経費の一部を助成)	毎月20回 毎月8回 活動者(3名)それぞれの活動日時	・宇佐会場・大分会場・中津社協・竹田会場・小倉(ムーブ)・長崎会場 ・山口会場(児童館、勤労福祉会館) 宇佐:活動会場(5か所) 長崎会場 山口会場	3名	(D) カウンセラー資格認定希望者 (E) 30名 心理カウンセラー今年度認定者3名 (D) 活動しているカウンセラー (E) 3名	0円 158,400円
⑥情報紙発行	年3回発行 内容:カウンセラーや会員の学びや思いのことば、カウンセリング原稿などを配布した。	1. R2年10月 2. R3年3月 発行	・大分県内、 ・長崎・山口会場を中心に配布	2名	(D) 会員・一般 (E) 配布人数 30名~40名	0円

活動した事業の状況を記入してください。定期的に行っている場合は、概要を記入してください。

法人名：特定非営利活動法人 心の支援センター
活 動 計 算 書

令和2年4月1日より令和3年3月31日まで
 (単位：円)

科 目	金 額	合 計
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	303,654	
賛助会員受取会費	18,000	
入会金	5,000	
		326,654
2. 受取寄付金		
受取寄付金	8,000	
受取助成金		
		8,000
3. 事業収益		
自主事業収益	30,000	
事業収益計		30,000
4. その他収益		
受取利息	0	
その他収益計		0
経常収益計		364,654
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	20,220	
人件費計		20,220
(2) その他経費		
貸借料	0	
会議費	0	
旅費交通費	0	
通信費	56,166	
消耗品費	0	
広告宣伝費	9,900	
諸謝金	0	
業務委託費	156,400	
印刷製本費	0	
雑費	2,000	
その他経費計		224,466
事業費計		244,686
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	72,000	
臨時雇賃金		
人件費計		72,000
(2) その他経費		
租税公課	0	
貸借料	0	
会議費	0	
旅費交通費	3,600	
通信費	24,860	
消耗品費	30,651	
広告宣伝費	0	
諸謝金	0	
印刷製本費	0	
雑費	20,000	
その他経費計		79,111
管理費計		151,111
経常費用計		395,797
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		76,368
当期正味財産増減額		△ 31,143
次期繰越正味財産額		45,225

法人名：特定非営利活動法人 心の支援センター
貸借対照表

令和3年3月31日現在
 (単位：円)

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	156		
普通預金	45,069		
流動資産合計		45,225	
2 固定資産			
固定資産合計			
資産合計		45,225	
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計			
負債合計		0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		76,368	
当期正味財産増減額		-31,143	
正味財産合計		45,225	
負債および正味財産合計		45,225	

法人名：特定非営利活動法人 心の支援センター
財 産 目 録

令和3年3月31日現在
 (単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	156	
当座預金	0	
普通預金		
郵貯	3,823	
大分銀行	41,246	
流動資産合計		45,225
2. 固定資産		
固定資産合計		
資産合計		45,225
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		0
正味財産		45,225